

羽場が2年ぶり優勝 120回目を迎えた町社会人野球大会



▲優勝を果たした羽場チームのメンバー

10月20日、金山町町民グラウンドで町野球連盟(丹正之会長)主催の第120回金山町社会人野球大会(地区の部)が開催されました。昨年と同カードとなった決勝戦では、羽場が打線爆発し、七日町に会心の勝利で2年ぶりの優勝を飾りました。「120回の記念の大会で、優勝できて嬉しい」と柴田魁星監督(羽場)は、笑顔で選手たちと喜びを分かち合っていました。最優秀選手賞は、土屋飛希さん(羽場)、打撃賞は黒沼琉生さん(羽場)、敢闘賞は笹原梨太郎さん(七日町)が受賞しました。

町産山形牛「丸藤3号」が 県産種雄牛としてデビュー



▲県産種雄牛としてデビューした丸藤3号

10月13日、グリーンパレー神室で開催された「金山町産業まつり」で、金山町産の山形牛が提供・販売されました。この牛肉は、「総称山形牛」のブランド力向上を目的とし、肉用牛改良の取組として造成した、加藤優志さん(谷口)生産、金山町生まれの県産種雄牛「丸藤3号」由来のもので、今年9月に県産種雄牛としてデビューしたばかりですが、歴代の種雄牛の中でも大変優秀な成績であり、畜産関係者からとても期待されています。

平成3年度金山中学校卒業生 金山町へ寄附



▲丹麻衣子さん(左)、佐藤英司町長(中央)、栗田伸一さん(右)

10月10日、平成3年度金山中学校卒業の同期会(代表・川崎充さん・内町出身)の皆様より、町へ10万円の寄附をいただきました。9月に苦流しの祈禱と同期会が開催され、同級会を代表し丹麻衣子さん(樞台)と栗田伸一さん(上中田)が町長室を訪れ、寄附金を佐藤町長に手渡しました。寄附金は町の中学校教育に関する事業費として大切に活用させていただきます。平成3年度金山中学校卒業生の皆様、誠にありがとうございました。

「金山学」本発表会 3年間の研究の成果を披露



▲発表会には1・2年生と保護者が見学に訪れました

10月17日、金山中学校で金山町のヒトモノコトについて理解を深め、郷土愛を深める事を目的とした「金山学」の本発表が行われました。本発表したのは1年生の頃から何十時間もかけて研究を続けてきた3年生35名で、2年生の時の中間発表でアドバイザーから受けたアドバイスを元に今回の本発表に至りました。本発表を終えた3年生からは「金山学を通じて町を知るきっかけになった」「研究の成果を町にも提案してみたい」などの感想が述べられました。

町出身の著者 沼澤典史さんが 町教育委員会へ本を寄贈



▲沼澤ひろ子さん(左)、須藤信一教育長(右)

10月29日、沼澤ひろ子さん(片貝)が金山町教育委員会に来庁され、ご子息である沼澤典史さん(片貝出身)の著書「野球に翻弄された男 広野功・伝」を寄贈しました。この著書は徳島県徳島市出身の元プロ野球選手、広野功さんの野球人生を綴ったもので、10月23日から全国の書店で販売されています。町内ではシェーネスハイム金山やマルコの蔵などでの販売を予定している他、金山町中央公民館図書コーナーで貸し出しを行っています。

リンベル株式会社から金山町へ寄附 感謝状贈呈式を開催



▲東海林和幸代表取締役副会長(左)、佐藤英司町長(右)

リンベル株式会社(東京都)より企業版ふるさと納税による寄附をいただき、10月28日に金山町役場で感謝状贈呈式が開催されました。出席された東海林和幸代表取締役副会長のご親族が金山町出身であり、昔から当町に馴染みがあること、令和4年度から個人版ふるさと納税業務を受託していることなど、様々なご縁からこの度の御寄附につながりました。寄附金は、「町制施行100周年記念事業」に有効活用させていただきます。

ジモト大学×産業まつり×募金活動 中高生が交流



▲企画に参加した中高生19名と講師の庄司隆子さん(板橋)

10月13日、産業まつり会場で新庄・最上ジモト大学が開催され、新庄・最上地域の高校生と金山校地域探求サークルのメンバー12名が参加しました。また、金山町立金山中学校の生徒7名と合同で、豪雨災害に見舞われた方々への募金活動が行われ、集まった募金は、山形新聞社新庄支社を通じて、戸沢村と鮭川村に届けられる予定です。トークセッションでは「イベントを通して魅力をもっと発信すべき」、「若者が集える機会を増やしたい」などの意見が出され活発な意見交換となりました。

地域の活気を取り戻したい 明安地区で万燈行列が披露



▲秋晴れの中開催された万燈行列

10月14日、明安地区内で妙栄寺(松の木)お会式行事が行われ万燈行列が披露されました。妙栄寺の花谷住職は、「新型コロナウイルスの影響で下火になった地域の活気を取り戻したい」という想いから管内唯一の山形・天童の万燈講中「櫻燈會」に万燈行列を依頼。櫻燈會約20名の行列が「ソレソレ」という威勢の良い掛け声と、鐘、太鼓の音を響かせながら松の木地区の通りを練り歩きました。

秋の金山をテーマに撮影 写真愛好家の皆さんが親睦を深めました



▲撮影会に参加した9名と栗田舞花さん(前列左から2番目)
11月2日、全日本写真連盟最北支部長高橋秀一さん(たかはしひゅういち)企画の撮影会が町内で開催され、9名が参加しました。栗田舞花さん(中田)をモデルにお呼びし、「秋の金山町」をテーマに大堰公園やマルコの蔵、旧明安小学校などで約4時間の撮影を楽しみました。講師として参加した戸塚喜八さん(とつかきはち、新庄市)は「あいにくの天気ではあったが、美しい街並みや秋の金山町を写真に残すことができた。金山町での撮影会を皆で楽しむことが出来、親睦も深められた」と感想を述べてくれました。

町にカーブミラー4基を寄贈 JA金山並びにJA共済連山形



▲JA金山岸理事長(中央)、JA共済連山形本部多勢部長(左)
11月6日、金山農業協同組合の岸新也理事長(きししんや)と全国共済連山形本部事業推進部多勢吉郎最上地区担当部長(たせいよしろう)が来庁し、町にカーブミラー4基を寄贈いただきました。これは交通事故対策事業の一環として、平成7年から毎年寄贈いただいております。私たちの交通安全と事故防止のため町内に設置され役立っています。長年にわたり寄贈いただき誠にありがとうございます。

日本全国からエントリー カムロトレイルランニング2024



▲南は沖縄県、北は青森県から選手がエントリーしました
10月27日、グリーンバレー神室を会場にカムロトレイルランニング2024とこみどりCUPが開催され、全国からエントリーした455名の選手が紅葉で色づいた美しい神室山を舞台に熱いレースを繰り広げました。また、今大会は町制施行100周年を記念し、タレントのミッチーチェンさんとYouTuberランナーのガチオさんにゲストとしてお越しいただきました。大会プロデューサーの須賀暁さん(すがさとる、山崎出身)は「理想の大会を行うことが出来た。来年も参加者の笑顔のために準備していきたい」と大会が無事に終わり安心した表情で語りました。

販売開始10分で完売 「ビーナッツのり塩ポテト味」



▲商品の販売体験をした5年生30名
11月7日、金山小学校5年生と(株)でん六の共同開発により誕生したビーナッツ新商品「のり塩ポテト味」の、5年生児童の体験学習による販売会が小学校玄関前広場において開催されました。商品は2種1セットで販売され、午前11時の販売開始とともに多くの町民が買い求め、用意した72セットは約10分で完売しました。販売体験を行った樋渡元徠さん(ひわたりもとき、上台)は「沢山の人が買いに来てくれて嬉しかった。海苔の風味が良いのでぜひ沢山のの人に食べてもらいたい」と感想を述べてくれました。

健康長寿の集いを開催 42名が参加しました



▲健康長寿の集いに参加された皆さん
11月19日、金山町農村環境改善センターで、金山町健康長寿の集いが開催され、42名の方が出席しました。集いでは町長との意見交換会が行われ、多くの意見が交わされました。また、アトラクションでは芸術文化協会の「舞の会」と「令和の会」による踊りの披露や、社会福祉協議会による頭の体操や参加者等のカラオケコーナーなどが行われ、参加者は終始和やかな雰囲気のもと楽しみながら頭や体を動かし交流を深めていました。

ヤマザワカップ 第40回山形県女子駅伝競走大会



▲5区アンカーを務めた高橋灯里さん
11月17日、上山町から山形間の5区間20.5キロでヤマザワカップ第40回山形県女子駅伝競走大会が開催され、熱いレースが繰り広げられました。金山町からは新庄・最上チームとして、高橋灯里さん(たかはしあかり、三枝)と小野葉月さん(おののほづき、山崎)がメンバーに選出されました。3区を務めた小野葉月さんは「昨年と同じスタート地点に立てて嬉しい。昨年とは違い、自信を持ってタスキを繋ぐことができた」と話してくれました。チームは昨年よりも順位を一つあげ、前回大会での悔しさを晴らすことができました。今後の活躍を期待しております。

令和7年度当初予算編成に係る意見交換会 町内24団体等 約60名が参加

10月7日から31日まで、町内24団体等から約60名の参加をいただき、昨年度に引き続き意見交換会を開催いたしました。新年度は町制施行100周年の節目から新たなスタートを切る大事な年度となることから、この意見交換会では参加者から多くの貴重な意見や要望をいただいたところです。人口減少や高齢化に加え、町民のニーズの多様化により、各団体の構成員の減少、担い手不足による今後の運営や活動への不安等、共通の課題が出されました。また、グリーンバレー神室一帯や中央公園に整備予定の地域振興施設に期待する意見や、子育て支援や居場所づくりに加え、これから配布するタブレットや脱炭素化への取組等に対し質問や要望をいただきました。これから、様々な意見や要望を基に予算化や今後の政策に反映したいと考えております。

